

さいたま市長 7月定例記者会見

平成22年7月22日(木曜日)

午後1時30分開会

○ 進 行 それでは、記者クラブの皆様、定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

記者クラブ幹事社の毎日新聞さん、進行をよろしくお願いいたします。

○ 毎日新聞 7月の幹事社を務めます毎日新聞と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。議題に入る前に市民の皆様一言暑中お見舞いを申し上げたいと思います。

さいたま市内でも連日のように35度を超えるような猛暑が続いております。熱中症と思われる救急搬送が昨日は26件、5月からの累計では115件発生をいたしております。昔から、“暑さの厳しい梅雨明け10日”などと申しますが、梅雨が明けて急に気温が上がり、体がそれについていけない状態になっています。市民の皆様におかれましては、くれぐれも注意をなされまして、この猛暑を乗り切っていただきたいというふうに思っております。

市長発表

議題1：「第22回国連軍縮会議 in さいたま」が開催されます

それでは、定例記者会見を始めさせていただきたいと思います。本日の議題は2件でございます。

初めに、「第22回国連軍縮会議 in さいたま」の開催についてお知らせをいたします。

世界の軍縮問題について討議する国際会議、「第22回国連軍縮会議 in さいたま」が、国際連合軍縮部及び国際連合アジア太平洋平和軍縮センターの主催、外務省の協力によりまして、8月の25日から27日の3日間にわたりまして、浦和ロイヤルパインズホテルを会場として開催されます。

この会議は、2年前の2008年に第20回軍縮会議が本市で開催をさ

れておりまして、本市で開催するのは今回で2回目となります。

参加者は、政府高官や軍縮問題の専門家などで、約20カ国から90人程度の方々の出席を予定しております。今回は「核兵器のない世界：構想から行動へ着実な前進」を全体テーマとして議論が進められます。事前の申し込みをいただければ、日英の同時通訳による傍聴が可能となっております。また、この会議の開催に合わせまして、国連の活動や平和についての理解を深めていただきたく、直接市民の方にご参加いただく市民参加プログラムも実施いたします。

主なものとしましては、まず8月の12日、大宮ソニックシティを会場としまして、俳優で国連開発計画親善大使の紺野美沙子さんをお招きしまして記念講演会を開催いたします。8月21日から27日までは、コムナーレ9階の市民活動サポートセンターを会場といたしまして、記念特別展を開催いたします。これは、市内の小中学生が描きました平和をテーマにした図画やポスターのコンクール入賞作品、国連の活動を紹介するパネルなどの展示を行うものでございます。

また、次代を担う市内の中学生や高校生が軍縮や平和について研究発表したり、実際の軍縮会議を見学したりする交流参加プログラムも実施する予定ですので、夏休みの最後に国際的な視野から平和について考える体験をしてもらえればと考えております。

さらに、「Love & Peaceコンサート2010」を8月の21日にさいたま新都心で行います。このコンサートは、ビートルズやジョン・レノン好きのアマチュアバンドの皆さんによりますコンサートでございますが、これまでは毎年冬に行ってまいりましたけれども、今年はこの軍縮会議に合わせて、この時期に行うことといたしました。残念ながら、ジョン・レノン・ミュージアムは9月いっぱいまで閉館になってしまいますが、大いに盛り上げてほしいというふうに考えております。

「第22回国連軍縮会議 in さいたま」が、参加者の英知と熱意によりまして、軍縮に寄与する多大な成果が生まれ、成功することを期待するとともに、国内外からいらっしゃる多くの方に、さいたま市の持つ魅力を積極的にアピールしていきたいと考えております。

議題1については以上でございます。

**議題2：「さいたまパパ・スクール～笑っているパパになろう！」の
日時・内容が決定**

続きまして、議題の2、「さいたまパパ・スクール～笑っているパパになろう！」の日時、内容が決定」をご説明いたします。

最近メディア等で、イクメンという言葉が耳にすることが多く、厚生労働省におきましてもイクメンプロジェクトが立ち上げられたことが大きな話題となっております。

さいたま市におきましても、子育てにかかわるさまざまな課題解決、子育て期におけますワーク・ライフ・バランスの実現に向けまして、父親の子育て支援が重要なかぎを握ると考えておりまして、現在子育てパパ応援プロジェクトを推進いたしております。

今回、強かに父親支援を進めていくために、「さいたまパパ・スクール」を実施することにいたしました。これは、先日ご報告をさせていただきました、さいたまマッチングファンド助成事業として実施をするものでございまして、父親の子育て支援で幅広く活躍をされておりますNPO法人ファザリングジャパンとさいたま市が協働して、さいたまのイクメンの発掘・育成と、子育てを通じました友人、パパ友のネットワークづくりを目指してまいります。

本事業の内容は、開校式を兼ねたオープニングイベントと、全5回の講座を実施いたします。オープニングイベントは、8月の7日に北区ステラタウン、メローベ広場におきまして、スクールの概要説明と絵本を使った歌遊び、絵本うたライブを行います。お父さんだけでなく、お母さん、お子さんも一緒に楽しんでもらえる内容となっておりますので、当日会場にお越しをいただければ無料で参加をいただけますので、ぜひ家族でお越しをいただきたいと思います。

講座につきましては、9月の4日から隔週ごとに、毎回二、三時間で行ってまいります。テーマは、ワーク・ライフ・バランスや地域活動、パパ料理といった、父親に家庭、地域で育児の担い手として活躍していただくための基礎知識を身につけていただくことを主眼にしております。対象につきましては、さいたま市内に在住・在勤・在学の男性とさせていただきます、

本日から参加者の受け付けを開始いたします。各回とも定員は20名で、基本的には先着順でございますが、なるべく5回すべてに参加していただければと思いますので、セットで申し込まれる方を優先させていただきたいというふうに思っています。受講料は各回1,000円、全5回すべてお申し込みをいただける方は3,000円ということになります。詳しくはチラシをご覧くださいと思います。

本事業を通じまして、子育ての担い手として家庭、地域で活躍できる子育てパパをふやし、笑っているパパの多い、子育てしやすいまちとしていきたいと考えております。

以上で私からのお知らせを終わらせていただきます。

関連質問

- 毎日新聞 ありがとうございます。
市長からの説明について質問をお願いいたします。
- NHK NHKと申します。
1つ目の議題の「国連軍縮会議 in さいたま」なのですが、これさいたま市として何かこの3日間の会期中に具体的にこういうことをやるとかです、こういうアピールをするとか、ちょっと伺えますか。
- 市長 先ほど申し上げましたとおりですね、市民の皆さん、特に小中学生あるいは高校生といった皆さんにもですね、この平和あるいは軍縮ということについて考える、そんな機会にしていきたいというふうに思っております、そういう意味で先ほどもちょっと申し上げましたけれども、記念講演会をスタートにしていきますけれども、その後、特別展ということでポスターとかですね、平和の絵、写真などのパネル展をやらせていただきました、あるいは高校生との交流プログラムということで、大宮のソニックシティでですね、高校生が全体会議のテーマの中から1つを選びまして研究発表するという形で、そして軍縮会議に参加している方がそれを講評するというような形で会議にも間接的に参加をしようというような試みでやらせていただいております。

また、これらの活動に際して模擬国連を実施しております大学生の方々にもご協力をいただいて、これらのことをやらせていただく予定にしてお

ります。

また、中学生についてもですね、国連の役割、国連の活動について理解をしていただくというようなプログラムをさせていただいたり、会議をですね、こういった子供たちにも傍聴してもらおうということでやってまいります。

また、ジョン・レノン・ミュージアムは、ちょうど9月末（に閉館）ということもありますので、ジョン・レノンといいますと、やはり平和、軍縮というものが非常に大きなテーマとして創作活動、芸術活動やっていますので、そういったものとリンクをさせながらですね、平和だとか軍縮というものを大きくアピールする、そんな1週間にしていきたいなというふうに思っています。

○ NHK 重ねて伺いたいんですが、さいたま市で今回2回目になるということなんですが、会議の場所としてさいたま市が選ばれているのは何か特別な理由とかがあってあるんでしょうかね。

○ 市長 もちろん、誘致というか、さいたま市はどうですかということで、こちらとしても働きかけをさせていただいているわけでありまして、ちょうど第20回目、おとし1回やらせていただいたわけですが、やはりそのときにも非常に、さいたま市平和宣言都市ということでやっておりますので、そういったさいたま市ですね、いわゆる特徴といいますか、さいたま市の姿勢をですね、大きくアピールできるチャンスでもあると思いますし、そういったことから、この国連軍縮会議についてはですね、1年間おいただけでありましたけれども、再度誘致をさせていただいて、実施をすることになっております。よろしいですか。

幹事社質問

参院選についての感想

さいたま市の公立小中学校の図書購入費の内訳と、基準財政需要額との比較。それについてどう考えるか。

○ 毎日新聞 それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問は一括してさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、参院選が終了しましたが、その感想を市長からお伺いしたいとい

うのと、次にさいたま市の公立小中学校の図書購入費の内訳、小学校と中学校の内訳、それと国が示している基準財政需要額との比較。それから、それについて市長としての考え。お願いいたします。

○ 市 長 まず、参院選についての感想でございますが、既にコメントということで発表させていただいておりますけれども、今回の参議院選挙はですね、与党の過半数割れという結果になったわけでありまして、菅総理大臣の消費税に関連する発言が影響したという部分もあると思っておりますけれども、基本的には政権交代後、昨年8月に政権交代後ですね、民主党の政権運営あるいはマニフェストへの取り組みなどに対して国民が厳しい評価を下したということなんだろうと考えています。今後民主党にはですね、政権交代をした、その原点を忘れずに、よい意味で政治主導、それから地域主権、生活重視の政治の実現ということ、それから徹底した行財政改革を推進していくために、しっかりと歩んでいただきたいというふうに思っております。

また、与党が過半数をとれなかったということで、衆議院とねじれが生じたわけでありまして、本来推し進めていくべき施策や法案などもたくさんあるわけですが、そういった意味ではですね、大きな混乱が生じないように、与野党それぞれの政党がですね、国民の視点の立って、党利党略を超えた立場で、国家国民のために国会での政策論議や議会運営がなされることを望んでいます。参院選については以上です。

それから、次の「さいたま市の公立小中学校の図書の購入費の内訳と基準財政需要額との比較、それについてどう考えるのか」についてお答えをいたします。

まず、さいたま市立の小中学校の図書購入についてであります。平成22年度当初の学校図書館図書購入費の予算額は、小学校が6,652万2,000円、1校当たり約65万円、中学校が3,922万1,000円、1校当たり約69万円となっております。

また、基準財政需要額との比較は、平成21年度の予算で比較をしますと予算措置率は、小学校が82.2%、中学校が55.3%、全体では69.6%というふうになっております。

学校図書館に整備すべき蔵書の標準となります学校図書館図書標準達成

率というもので申しますと、本年4月の調査で、小学校が93.1%、中学校が86.9%、全体では90.6%という数値となっております。

なお、本市におきましては、学校図書館の利用環境の向上を図るために、市内すべての小中学校に学校図書館司書を約160名配置するなどし、「さいたま市の子どもは日本で一番本が好き」ということをキャッチフレーズとしまして、さまざまな読書指導の充実に努めております。

さらには、学校図書館資源共有ネットワークシステムによりまして、蔵書の共有化を図り、すべての学校間で160万冊という膨大な図書の相互貸出しができるようになっており、それらに加えて市立の図書館からの団体貸出しもできる読書環境づくりを行っております。

今後も蔵書を充実させていくことはもちろんであります。今申し上げましたようなネットワーク化によりまして、現在あるストック図書の有効利用が図れば、子供たちにとっても豊かな読書活動につながっていくというふうに考えております。

以上です。

関連質問

- 毎日新聞 ありがとうございます。
では、質問させていただきます。先ほどの図書購入費なんです。これはもう今年度は地方交付税の交付団体になりそうという見通しが発表されましたけど、その交付税で算定基準、その基準財政需要額に大幅に中学校、特に落ちていますが、それについてどう思われるか。
- 市長 中学校のほうがですね、今非常に差がございますので、中学校の図書についても、さらに拡大というか、充実を図っていきたいというふうには考えております。
- 毎日新聞 拡大、充実を図っていきたいというのは、これを100%に近づけていくということなんですか。
- 市長 さいたま市の場合、今冒頭でもちょっと申し上げましたけれども、蔵書の達成率としてはかなり高い数字であるかなというふうに思っております。それらに加えて、持っている図書をさらに有効に活用しようというような形でこのネットワーク、学校間のネットワークだとか、あるいは

市内の図書館のネットワークという形でやらさせていただいています。これは、学校間の貸出し状況でいいますと、平成21年度では2万5,471冊、それから市立図書館のほうでは7万1,868冊ということで、かなりいろんな形で活用させていただいているというようなこともございますので、充実させる一方で、このネットワークをさらに充実をさせていく中で、あるものをより有効に活用していく、利用していくという、この2つの考え方の中でやっていきたいと思っております。

- 毎日新聞 予算は低くても、ネットワークが有効活用されればいいということですか。
- 市長 基本的には充実を図っていくということは、やってまいりますけども、それだけではなくてという意味でご理解いただければと思います。ただ、その金額がそのままという形になるかは、現状としてはまだ予算をつくっている前ですので、今のところ、まだ何とも申し上げられませんが、充実を図っていくということと、このネットワークを活用していくということで、より一層充実を図っていききたいということです。
- 毎日新聞 これは、今の状況をよしとして、それをさらに充実させようとしているのか、やっぱりこれは低過ぎると思って充実させようとしているのか。
- 市長 基本的には、その図書の、蔵書の目標についてはですね、さっきも申し上げましたとおり、これは小学校93.1、中学校86.9ということで、達成率としては、100%にはなっておりませんので、より一層の充実は必要ではありますけれども、高い状況にはなっておりますので、それらを踏まえてやっていくということですね。
- 毎日新聞 ほかに何か。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。参議院選挙の結果についてなんですけれども、埼玉選挙区では当選はなりませんでしたが、みんなの党の候補者が40万票という得票をとりました。このみんなの党の得票について、市長はどのようにお考えでしょうか。
- 市長 そうですね。やはり自民党、それから民主党というですね、これまで政権を担ってきたところ、あるいは現在担っているところに対する、期待というものがですね、薄れてきて、それ以外の党に対する期待ということで、そういったものがみんなの党に集まってきたんだろうというふうには思っ

ています。

- 埼玉新聞 前回の衆院選のときは、たしか20万票ぐらいの得票だったはずで、今回約倍の得票をとったんですけれども、この40万票という得票について、予想より多かったと思われませんか、それとも少なかったと。
- 市長 一つは、前回は選挙区には立っていなかったという事情もあったと思いますので、今回は候補者がちゃんと出てきたということもあって、これまで以上にその党への投票が増えたということもありますし、みんなの党への期待感も衆議院のとき以上に高まってきているということが言えるんじゃないかと思います。
- 埼玉新聞 今後、みんなの党の推薦等を得る選挙の候補者とか出てくるかと思えますけれども、みんなの党との連携というのを考えるおつもりはあるんでしょうか。
- 市長 そうですね。私自身出馬の際には、渡辺代表と一緒に記者会見をさせていただくなど、考え方はかなり共通する部分はたくさんありますので、今後いろんな形で連携していくということも十分あると思います。
- 埼玉新聞 あと、一方で今回市長が応援首長として名を連ねた日本創新党が、結果としては埋没する形になったんですけれども、今後日本創新党との関係はどのようにされていく予定でしょうか。
- 市長 これは、これまでも何度か申し上げさせていただきましたけれども、日本創新党のベースが、「よい国つくろう！志民会議」というものになっていて、そこの私自身が政治委員にならせていただいています。基本的な考え方については、かなり共通をしている部分が多いと思っておりますので、党というよりは、その運動を応援していく、参画をしていくという方針はこれまでどおり変わっておりませんので、基本的には党を応援するというよりは、その運動を応援していく、あるいは参画をしていくということでご理解をいただければと思っています。
また、今回は議席はとれませんでしたけれども、今後またあそこに入っているメンバーがですね、党をつくって創新党という形になっていますから、今後さらに活躍をする場面も出てくるんじゃないかと思っています。
- 朝日新聞 首長の新党、大阪とかですね、創新党も含めてなんですけれども、今後より活発になっていくと思います、それとも下火になっていくと思われま

すでしょうか。

- 市長 そうですね、恐らく地方の場合ですね、国のいわゆる各政党間の枠組みと違う、要するに地方独自のね、大阪の橋下さんが今やっている大阪維新の会など大阪都構想であったり、あるいは松山の松山維新の会ですか、あと名古屋とかですね、みんなそれぞれ国の枠組みというよりは、その地域の特性だとか、テーマに合わせた形でそういったものが、地域政党ではないですね、あれ。地域政治グループというんですかね、というものがつくられていると思いますので、今後は、地方の場合は、やはり国の枠組みとかということだけじゃなくて、それぞれ地域が持っているいろんなテーマ、課題がありますので、その中でそういった党派を超えた形でね、いろんな形で連携をしていくという政治グループが生まれてくるということは、これからも増えてくるんじゃないかなという気はします。
- 朝日新聞 市長は、そういうお考えはないんでしょうか、みずから立ち上げたりとか。
- 市長 今のところは、まだ考えておりませんけども。
- 時事通信 時事通信です。今の首長新党の関係で、要は首長が議会の多数派をどんどん占めるように枠組みをつくりかえていくというのが名古屋だったり大阪だったりということで行われていて、新党という形じゃなくても市長もそういう、阿久根市ではないですけども、そのように議会に対しての働きかけというのはやっていかれるんでしょうか。
- 市長 そうですね。やはり議会と首長と、二元代表制というふうな言い方をされますけども、一つはやっぱりある程度同じ方向を向いている中で議論が行われたり、あるいはチェックが行われたりすることで機能するのではないかと私自身思っていますので、余り違う方向を向き過ぎるときには、やっぱり難しさがですね、二元代表制が機能しないというケースも出てくるのではないかと考えておりますので、そういう意味では、私自身もですね、議会の皆さんとですね、ある程度同じ方向を向きながら、政策をチェックしていただいたり、あるいは提案をいただいたりする中で、二元代表制がきちっと機能するような形になることが望ましいと思っておりますけれども。
- 埼玉新聞 今現在議会と同じ方向を向いていないことが多々あると思うんですけど

も、それについて今後どのようにされていくのでしょうか。

- 市長 そうですね、私どもからの理解を求めていくことが十分でない部分もありますけども、その辺はテーマごとにですね、しっかりとご理解をいただけるように努めていきたいと思えます。

その他

普通交付税の交付見込みについて

- 毎日新聞 ほかにその他の質問がある方、お願いします。
先ほどちょっと話しましたが、交付団体になる見通しと、それについて感想を。
- 市長 そうですね、ご存じのとおり今年の収入についてはですね、(基準財政収入額では)市民税を中心に、市税が61億円減少するという状況になりまして、ご案内のとおりこの交付団体になるかならないかというのはですね、標準財政需要の金額、これは一般的なことについて市として何を歳出するとか、そういったものとは別に数字が出されるわけですけども、それに対して収入の部については、今回はその市税が非常に減収をしたということがございましたので、そういう意味ではいたし方ないというかですね、というふうには思っていますが、今後歳入対策も含めて、市としてもさらに歳入が増えるような政策の強化も図っていかなくてはならないなというふうに思っていますが、ただ一昨年のやはりリーマンショック以来の景気の低迷ということがですね、大変大きく陰を落としているというふうに思っております。
- 朝日新聞 財政計画の見通しをですね、何かつくりかえるという話、ちょっと忘れちゃったんですけど、そういう話が随分前に予算の段階で出てきたと思うんです。それはいつぐらいに、どういう形で出てくるか、それとも今の段階で見通しを発表できるという状況なのか。
- 市長 今精査をしている段階で、新行財政改革プランをつくっておりますので、それを策定する中で財政見通しについてもですね、出てくるというふうに思っておりますので、そうですね、もう数カ月、3カ月ぐらいかかるかなと。その中で、中期的な財政の見通しが出てくるというふうに思えます。
- 朝日新聞 確認ですけど、要するに新行政改革プランの中で、その中期的な財政見通しを、数カ月後をめどに発表できるということ。

- 市長 はい、そういうことです。
- 時事通信 時事通信です。市民税の減収というところなんですけども、徴収率も2009年度の決算見込みだと落ちてたりとかしていて、とにかく市民税に頼らなきゃいけない部分がさいたま市は多々あると思うんですが、その徴収の仕方とか、さらに徴収率を上げるための努力というところは、何かされるのでしょうか。
- 市長 はい。今検討しているところなんですけども、徴収率をですね、この市民税、それから国保税も含めてですね、収納率をアップさせようということで、その対策について今検討しているところでございます。
- 時事通信 でも、リーマンショックで落ちるというのわかっていて、あらかじめどんどん、どんどんやっておかなきゃいけないと思うんですけど、まだ対策を考えている段階なんですか。
- 市長 今それを詰めている段階なので、もう少しで発表できるかと思えます。

その他

市長議題の変更について

- 日本経済新聞 日経新聞と申しますが、今回ちょっと議題の変更ってあったかと思うんですけども、この背景って教えていただけますか。
- 市長 「E K I Z U N Aプロジェクト」がですね、最後のところを今日産さんと調整しておりますので、ちょっとそれが終わり次第発表するという形になると思います。その辺の最終調整が今日までに間に合わなかったわけです。
- 日本経済新聞 わかりました。
- 事務局 その「E K I Z U N Aプロジェクト」の発表については、近日中にですね、(記者)レクなり(記者提供資料の)投込みをしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

その他

- 埼玉新聞 全然話変わるんですが、今年は市長は夏休みはどこか予定はあるのでしょうか。
- 市長 一応11日から1週間ほど休ませていただく予定ですが、途中花火大会にちょっと出席をさせていただいたりしますけれど、ワーク・ライフ・バ

ランスを考えながら過ごさせていただきます。

- 埼玉新聞 　　昨年、就任1年目ではたばたしていましたが、今年はゆっくり休め
　　そうですか。
- 市　　長　　そうですね。なるべくそうしたいと思っております。
- 毎日新聞　　ありがとうございました。
　　それでは、本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進　　行　　ありがとうございました。これで終了させていただきます。

午後2時04分閉会

この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣いなどを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後訂正された文言等については「会見後訂正」とし下線を付しています。